

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101465
事業所名	グループホーム楽楽苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  地域との相互の交流があり、地域行事の盆踊りには職員と連れ立って利用者が参加し、踊りの輪の中に入って楽しんだ。 ホームイベントの「楽楽祭」（創立記念日）やバーベキュー大会には地域にも声掛けをしている。	評価  ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  原則、奇数月の最終土曜日を運営推進会議の開催日とし、年間6回の開催がある。地域包括支援センターの職員や地区総代、家族、利用者が参加している。今年度から、運営推進会議が身体拘束適正化の委員会を兼ねることとなり、計画作成担当者である介護支援専門員も会議に出席している。	評価  ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  運営推進会議には、必ず地域包括支援センター職員の出席があり、様々な情報提供や注意喚起の声掛けがある。 情報提供では、身体拘束に関する制度改正やセミナーの紹介、介護負担割合や医療保険の更新の案内をしている。夏には熱中症や食中毒、冬にはインフルエンザ等の時節に合った注意喚起がある。	評価  ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  運営会議の開催日が土曜日に設定されている割に、家族の会議参加は少ない。それを補うかのように、元気な利用者が毎回2～3名参加し、会議を見守っている。 ホームイベントには家族の積極的な参加がある。春の楽楽祭、夏のバーベキュー、秋のバス旅行や運動会、冬のクリスマス会や餅つきには、利用者と家族の笑顔があふれる。	評価  ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	